



地域の皆さまこんにちは。いつも本園に対してご理解とご協力をいただきましてありがとうございます。今年度も情報誌「つきづっこ」を発行し、子どもたちの様子や園の取り組みなどをお伝えしていきたいと思ひます。この7月号を含めて年3回の発行を予定しています。地域の皆様に親しんでいただけるよう、より一層、内容の充実を図ってまいりますのでよろしくお願いいたします。

教育・保育理念『善隣のこころ』

いつでもどこでもそしてだれにでもわれら善き隣人たらん

教育・保育方針 『三つのゼン』 安全・自然・積善

すべての子どもが『安全』にすごせる心くばりをする
 すべての子どもに『自然』の大切さを気づかせていく
 すべての子どもの『積善』への努力をみとめていく

教育・保育目標

- 心身ともに健康な子ども
- 自然を大切にできる子ども
- 自分で考えて行動できる子ども

月津こども園 教育・保育方針

安全

- 安心感と信頼感をもって過ごし、主体的に活動できるようにする。
- 安全な環境の下で体を動かす楽しさを味わい、様々な運動機能の発達を育む。

自然

- 身近な自然と触れ合う中で、四季の移り変わりを感じ、豊かな感性を育む。
- 動植物に関わる中で興味・関心を持ち、命を大切にする心を育む。

積善

- 自分や他人の良いところを知り、自己肯定感や思いやりの心を育む。
- 人との関わりの中で、ままりを守る大切さや、しても悪いこと悪いことを考える力を育む。

ちゅうりっぷ2組 (2歳児)

元気かな？

お散歩でみつけたよ
 ～これ、なんだろう？～

おたまじゃくし、いたね



★田んぼに水がはられ、たくさんのオタマジャクシが泳いでいます。子ども達は、「なんだろう？」「触ってみたい」と生き物にとっても興味を持っています。先日、近辺散歩に出かけ、オタマジャクシ探しをしました。田んぼでは「僕もしたい」とのぞきこみ手をのばしたり、「おっ！おっ！」と指差して保育教諭に興奮した様子で伝えに来ていました。こども園に帰り水槽に入れてみると、オタマジャクシに小さな魚、しじみの赤ちゃん。田んぼにこんな生き物がいたんだと保育教諭も驚くほどでした。水槽を覗き込んでじーっと見たり動く度に「おっ」とおどけて友だちと盛り上がり、「足が生えた！」「緑になってきた」など発見したりしていました。子ども達が大きく成長していく中で生き物に親しみをもち、生き物を大切にする気持ちが育ってほしいと思ひます。

給食メニュー紹介

～美味しい、夏バテ防止メニュー～



つきづっこ給食室です。栄養たっぷりの旬の食材を取り入れながらおいしく楽しい給食時間が過ごせるようメニューを考えています。その中から子どもたちの人気メニューを紹介していきたいと思ひます。

魚の南蛮漬け



材料 (4人分)

魚 (白身魚)	4切	酢	大さじ 1	A
塩	適量	しょうゆ	大さじ 1.5	
片栗粉	適量	砂糖	大さじ 1	
油	適量	水	適量	
玉ねぎ	1/4 個			
人参	1/3 本			
ピーマン	2 個			

作り方

- 魚は洗って水けを切っておき、塩をふっておく。
- ①に片栗粉をまぶして油で揚げる。
- 玉ねぎ、にんじん、ピーマンを千切りにしておく。
- 鍋に③を入れ、水を具がかくれるくらいまで入れ、しばらく火にかける。
- ④に火が通ったらAを入れ、しばらく煮込む。
- ②に⑤をかければ出来上がり！

月津こども園では、教育・保育方針『三つのゼン』安全・自然・積善を大切に教育・保育をしています。

月津こども園は緑豊かな自然環境に恵まれており、子どもたちは自然と触れ合っで遊ぶ中で様々なものに興味関心を持ち、豊かな感性や好奇心を育てています。今月号では、教育・保育方針の一つである「自然」に関わる活動を通して、子どもたちの成長や様子をお知らせしたいと思ひます。

ひまわり組 (5歳児)

水辺の生き物

～図鑑で調べて、飼ってみよう！～

生き物探しに出発！



こうらヌルヌルしてる



★ひまわり組では、子ども達が園庭で発見した小クワガタを育てています。先日、子ども達から、他の生き物も育ててみたいという声があがりました。そこで、何の生き物を育てたいのか話し合いをしました。最初は「虫がいいんじゃない？」「園庭の虫探してこようさ」と言っていたのですが、「もう部屋の虫かごに虫おるよ」という子の意見に「あ～そっか～」とまた考え出す子ども達でしたが、「魚とかいいんじゃない？」という意見が出ると「それいい！」と賛同し、魚(水辺の生き物)を飼うことに決定しました。飼うものが決まったので「じゃあ生き物探しに行こうか」とみんなで近くの用水路に行ってきました。勢いよく流れる水を見て「水って白いんやね」という発見があったり「なんか貝がらある」とタニシを見つけたり虫探しとは違う発見が次々とあり子ども達も楽しそうにしていますが、肝心の水辺の生き物が見つからず諦めかけていたとき、よ～く用水路を見ると赤ちゃん亀が泳いでいるのを発見。すぐに捕まえ子ども達に見せると「亀可愛い～」「(見つかったの)奇跡や～！」と大喜びして「お部屋で飼おう」という事になりました。お部屋に帰ってからみんなで図鑑を調べるとミシシippアカミミガメの赤ちゃん(ミドリガメ)という事がわかりました。図鑑を見た子ども達は「これと一緒にやつや」と図鑑を見たり、飼育ケースの中の亀を見たり繰り返して見ました。後日、みんなで話し合い亀の名前を決めました。色んな候補が出た中でみんなが良いと言った『くろちゃん』に決まりました。これからみんなで一生懸命お世話をして、成長の様子を知る事や発見する楽しさを感じながら、育てていきたいと思ひます。また、小さいものにも命があることを知り、命を大切にする心を育みたいと思ひます。



この図鑑に載ってるやつと一緒にね



みんなよろしくね♥

ゆり組 (3歳児)

ダンゴムシやかたつむりはどこにいるのかな
 ～身近な自然や生き物に興味を持ち、親しむ～



これ、ダンゴムシかな？



カタツムリって何食べるのかな？



カタツムリの赤ちゃん生まれたよ！



カタツムリの絵を描いたよ！

★戸外に出てあそぶことが大好きなゆり組の子ども達。天気の良い日は、散歩や園庭で花を摘んだり、虫探しを楽しんでいます。「みんな～見てみて！」と元気いっぱいのお友だちを呼んでみたり、「ねー、こんな所におるよ」と草の中を覗きこんだり何回か経験する中で、石の下にダンゴムシや小さな生き物がいることを発見したようです。自然に触れながら、発見する驚きや喜びを感じ、気づいてくれる気持ちが育ってくれたらと思ひます。散歩バックに入れて園に持って帰ったダンゴムシや、カタツムリを飼育ケースの中に入れて、毎日給食室から、レタスやキャベツなどの外側の大きな葉やきゅうり、人参などの食べられない部分をもらって飼育ケースの中でどんな物を食べるのか観察しています。先日、米粒のような大きさのかたまりの卵が土の上にあることを見つけ、「早くカタツムリの赤ちゃんが生まれなかな」と楽しみにしていたところ、小さな小さな赤ちゃんカタツムリが誕生しました。「小さい寝るとるんかな～」「ねえ、ねえ、目あるよ」と子ども達の可愛いおしゃべりが聞こえてきます。見つけた小さな命を大切にする事で優しさや思いやりの心を育てていきたいと思ひます。

全園児

夏野菜を育てよう
 ～野菜の生長を見守り、植物に触れる事を楽しむ～



★各クラスそれぞれ、いろいろな野菜を育てています。野菜を育てる事を通して、植物に触れる楽しさや、どんな風に実がなるのか、自分たちが普段食べている野菜がどのようにして生長していくのか興味を持っています。毎日の水やりで「みて、トマトの赤ちゃんいる！」と子ども達から野菜の生長を喜ぶ姿や、給食で自分たちが育てている野菜と同じものが出てくると「これ、一緒やね」と興味を持って話し、「食べてみたい！」と野菜が苦手だと感じている子も、意欲的な姿を見せてくれることもあります。また、以上児では、クラスに食べられないように子どもたちで「キラキラのやつつけたら来んのじゃない？」「網つけよう！」と子どもたちで話し合っで決め、対策を実行しています。これから、どんどん収穫できるものも増えてくるので、また一緒に収穫することの喜びや、みんなで食べる事の楽しさ、身近な野菜に興味を持って関わられるように、水やり等のお世話を楽しみながらしていきたいと思ひます。